

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

ANA ホールディングス株式会社 殿

令和7年10月31日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会

バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 下水汚泥をどこで調達するのか、また、バイオ燃料を、誰が・いつ・どのくらいの量製造し、誰がオフテイカーとして利用していく想定なのかを決めた上で、そこからバックキャストした事業計画を実施計画書及び事業戦略ビジョンに反映すること。また、ANA ホールディングス株式会社自身が本事業を実施する意義について再整理すること。
- ・ 上記の対応方針や新たな事業戦略ビジョン、事業継続の意思について、本ワーキンググループにおいて再度説明すること。
- ・ 自社の優位性を確保するコア技術の開発を進め、特許化・ノウハウ化するだけでなく、自社が優位な領域及びや他社と協調して市場創出やコスト低減に寄与する領域を特定し、一体的な戦略としてオープン＆クローズ戦略を検討すること。
- ・ 特許申請を行う法務部以外として、未来創造室にも新に知財担当者を設置した点は評価できる。一方、一担当だけでなく、組織としての情報収集や検討を行う体制を構築すること。

以上